

## 県内大学の海外研修や石川県人会の交流

### ■金沢星稜大学の海外研修

2月下旬に金沢星稜大学の経済学部の1年生及び2年生7名がシンガポールで海外研修を行いました。同校は10年ほど前からシンガポールでの海外研修を行っておりますが、近年はコロナの影響で実施できておらず、今回が5年ぶりの研修となりました。また今回の学生は高校生の時期がちょうどコロナ禍で、修学旅行等で海外へ行くことができなかったため、海外への渡航自体が初めてという学生が多かったようです。一方で随行された先生はシンガポール研修が始まった時から担当しており、この5年間の物価の上昇やキャッシュレス化の進展といったシンガポールの変化に驚いておりました。

研修は8日間の日程で行われ、一部の行程を当事務所でサポートさせていただきました。

例えば、初日にご案内したアジア No.1 の大学「シンガポール国立大学」では、日本語を専攻する同校の学生との交流を企画しました。星稜大学の学生による英語のプレゼンテーションや、シンガポール国立大学の学生が校内を案内するキャンパスツアーなどを行い、交流を深めました。星稜大学の学生は、最初は少し緊張した様子でしたが、シンガポール国立大学の学生がとてもフレンドリーに接してくれたため、すぐに打ち解けることができ、最後には一緒に写真を撮ったり、連絡先を交換したりするなど、とても楽しそうな表情に変化していったのが印象的でした

また2日目以降は、シンガポールに進出する日系企業や、石川県出身の経営者のもとを訪ねました。鉄道関係の日系企業に訪問した際には、鉄道に興味のある学生から矢継ぎ早に質問が飛び、また、石川県出身の経営者への訪問については、海外で一からビジネスを立ち上げた際の苦労話を伺うことができ、経営学を専攻する学生にとって、非常に貴重な時間となったようです。

そのほか、自由時間には、チャイナタウンやリトルインディアなどへ行き、多民族国家であるシンガポールの雰囲気を肌で感じることもできたようです。学生のうちにこのような経験ができるということは、非常に羨ましく思いますし、今回来星した学生にはぜひ、研修で学んだことを今後の人生に活かしてほしいと思います。



シンガポール国立大学との交流



企業訪問の様子

### ■シンガポール石川県人会 交流会の開催

こちらも 2 月下旬になりますが、シンガポールに居住する石川県出身者や石川県に縁のある方々を会員とする「石川県人会」の交流会を開催いたしました。今回は 22 名の方にご参加いただきましたが、コロナ後に人事異動が多かったため、参加者の半数近い 10 名が初参加となり、新しい顔ぶれも交えて、石川県人同士での親睦を深めました。実は実家が近所であったり、子供が同じクラスであったりなど、会話をしてみると意外な接点が見つかることも多いようで、私自身も、偶然にも小中学校の同級生や高校の同級生と再会し、まさかシンガポールで一緒になるとは思ってもいなかったため、大きな驚きとともに、とても嬉しい気持ちになりました。

また、先日の能登半島地震に関するシンガポールでの支援の取組状況についても皆さんにご説明させていただき、支援のご協力をお願いいたしました。親族や友人が被災されたという方もいらっしゃり、同じ石川県人として、故郷の復興に向けて想いを一つにする良い機会にもなりました。

今後も定期的に交流会を開催するなど、シンガポールでの石川県人同士の繋がりを大切にしていきたいと思っております。



シンガポール石川県人会 交流会

#### ■モスバーガーでのメニュー提供

シンガポールのモスバーガーにおいて、2月から期間限定で金沢カレーと石川県のジェラートを使ったメニューの提供が始まりました。

皆さんおなじみのモスバーガーは、シンガポールでも約40店舗を展開するなど、ローカルの方々に広く認知されており、いつも多くのお客様で賑わっています。このモスバーガーにおいて、今回金沢カレーを使用したメンチカツバーガーと、デザートメニューとして能登のジェラートをご提供いただけることとなり、おそらく日本でもまだ実現したことのないコラボレーションが、ここシンガポールで実現することとなりました。

モスバーガーのような大手企業との連携は非常にハードルが高いことではありますが、その分大きなPR効果が期待できる、インパクトのある取組だと思えます。今後もこのような形で多くの石川県産品をシンガポールの方々に知っていただけるよう、PR活動に力を注いでいきたいと思えます。



モスバーガーのメニュー